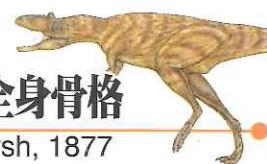


アロサウルスの全身骨格

Allosaurus fragilis marsh, 1877

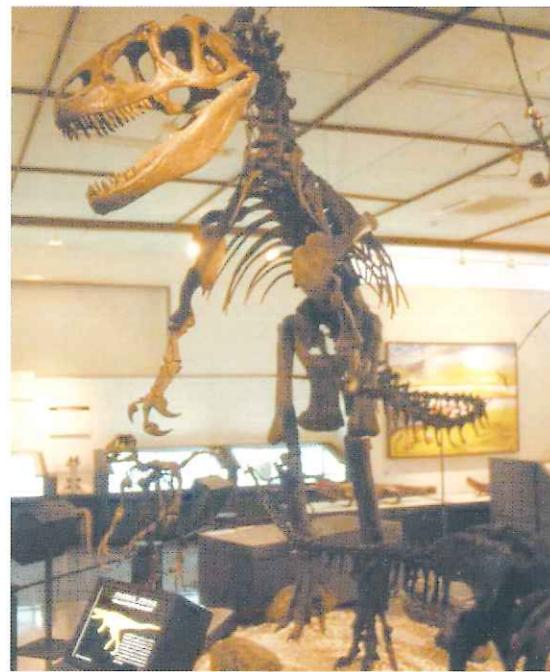


アロサウルスは、ジュラ紀後期(約1億5千万年前)の北アメリカに生息していた肉食恐竜です。全長は10メートルをこえます。アメリカ合衆国、ユタ州クリーブランドロードでは、たくさんのアロサウルスの化石が発見されています。

アロサウルスフライシスは1877年にアメリカの有名な古生物学者O.C.マーシュによって命名されました。アロサウルスは「ちがうトカゲ」フライシスは「こわれやすい=fragile」という意味です。

恐竜博物館に展示してある全身骨格は、アメリカのユタ大学に所蔵されている標本です。この骨格はもともと関節がつながっていたものではなく、バラバラの状態で、しかも数匹分が入り混じっていたものから組み立てられたものです。

町がこの標本を入手したのは平成4年で、カルチャーセンター開館と一緒にロビーの狭いスペースに設置されたので、頭を高く持ち上げ、尻尾を引きずった「ゴジラ」のような姿勢でした。しかし、恐竜博物館への移設の際に頭を下げ、背中を水平にちかい状態に修正しました。残念ながら、まがっている尻尾はそのままになっていますので、近いうちに修正を行わなければなりません。恐竜博物館のアロサウルスの骨格標本の写真は、中学校の理科の教科書にも掲載されています。



アロサウルスの全身骨格 学名Allosaurus fragilis

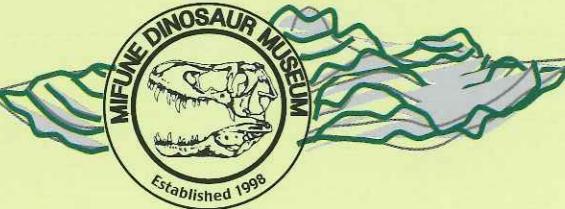


作 御船町 江原一樹君

御船町恐竜博物館情報誌
ダイナソートピックス No.5

■発行日/平成14年11月15日

■編集・発行/御船町恐竜博物館

〒861-3207 熊本県上益城郡御船町大字御船995-3
TEL (096)282-4051 FAX (096)282-4157<http://www.mifunemuseum.jp/>
Email/info@mifunemuseum.jp

印刷/株式会社トライ

恐竜〇×クイズ?

1~5の問題に○か×でお答え下さい。

<問題>

- 1 恐竜のふんも化石になることがある。
- 2 恐竜はしつぽをひきずって歩いていた。
- 3 ティラノサウルスの歯の大きさは、最大で5cmくらいである。
- 4 テリジノサウルスは、植物を食べていたと考えられている。
- 5 「ミフェリュウ」は、正式な名前(学名)である。

<応募方法>

はがきに答えと住所、氏名、年令などを記入のうえ、恐竜博物館までお送りください。全問正解者の中から抽選で3名の方に素敵な博物館グッズ(アンモナイトの化石、恐竜ストラップ、キーホルダーのいずれか)をプレゼントします。

■〆切/1月15日(消印有効)

■宛先/御船町恐竜博物館

<ダイナソートピックスNo.3 恐竜〇×クイズの答え>

1 ○、 2 ×、 3 ×、 4 ×、 5 ×
ご応募ありがとうございました。貴重な御意見などもいたしました。大変おそくなりましたが、3名の方にモロッコ産のアンモナイトをお送りしました。

御船町恐竜博物館情報誌 ダイナソートピックス

Dinosaur Topics

No.5
2002.11.15

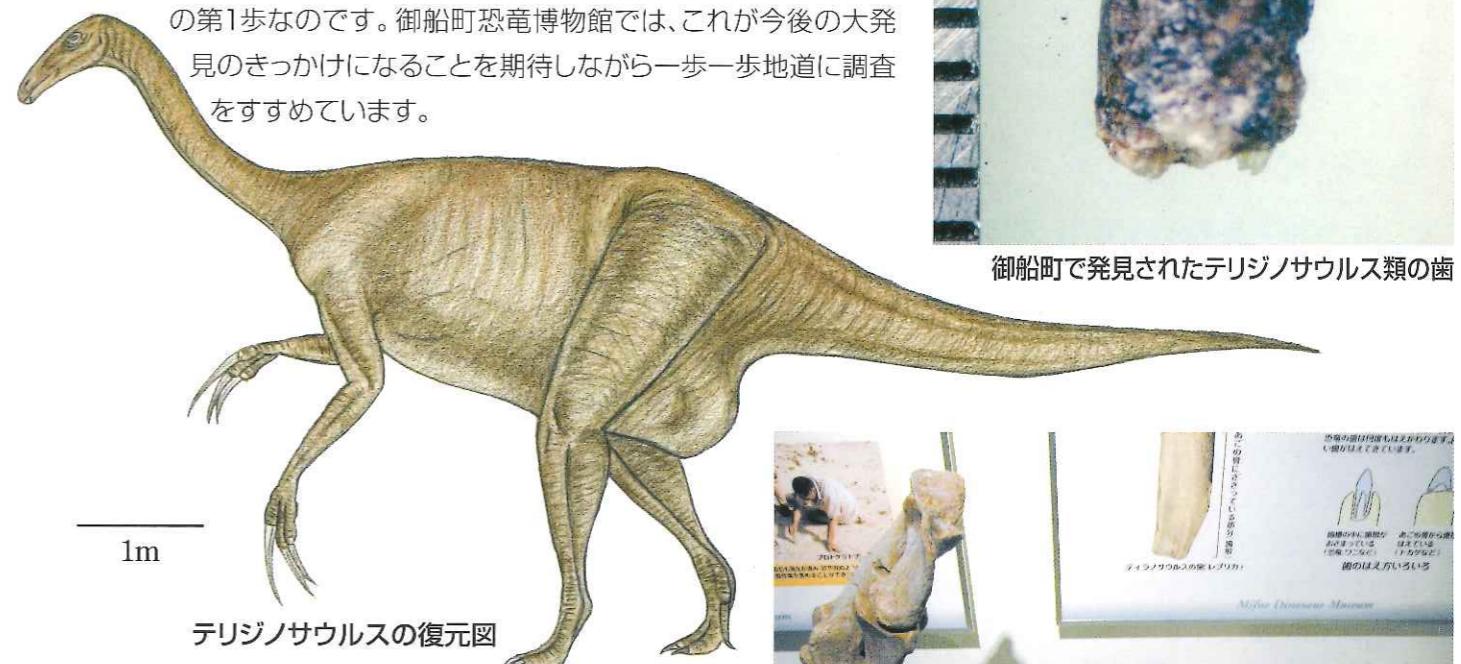
日本にもテリジノサウルスがいた!

1990年以降、御船町に広く分布する白亜紀後期の地層から、恐竜の化石が数多く発見されてきました。1993年に発見されていた小さな恐竜の歯の化石をくわしく調べたところ、それが、テリジノサウルスの仲間の歯と同じ特徴をもっていることがわかり、6月22日に福井県勝山市で開かれた日本古生物学会で当館の学芸員が発表しました。

1本の歯の化石からわかるることは限られていますが、特徴を整理し、これまでに知られている他の恐竜の歯の化石とくらべていくと、ある程度種類を特定することができます。

テリジノサウルス類はおもに白亜紀後期の東アジアで繁栄しました。白亜紀後期初頭に堆積した御船層群から、この恐竜の化石が発見されるということは、地域や時代を考えても特に不思議ではありません。

今回確認されたのは、とても小さい歯の化石だけですが、このような小さな発見も、今から約9000万年前の御船にいた恐竜たちの姿をとらえるための第1歩なのです。御船町恐竜博物館では、これが今後の大発見のきっかけになることを期待しながら一步ずつ地道に調査をすすめています。

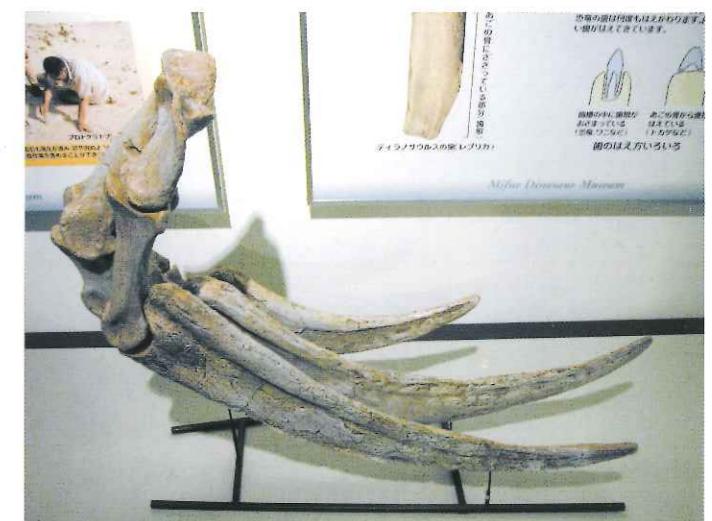


テリジノサウルスの復元図

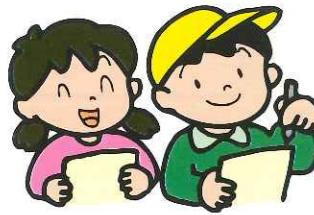
テリジノサウルスのなかまは、中国でのアルシャサウルスの発見以来、分類上は獣脚類(アロサウルスや、ティラノサウルスを含む仲間)に含められることがほぼ確定しています。しかし、獣脚類としては、体の大きさのわりに頭が小さく、歯も非常に小さいなど、とてもかわった特徴を持っています。骨格の特徴としては、手の巨大な鉤爪や恥骨が後方に傾くなどがあります。



御船町で発見されたテリジノサウルス類の歯

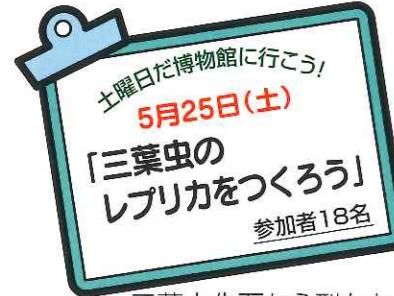


テリジノサウルスの手



「土曜日だ博物館に行こう！」はじまる

今年度から、学校週5日制がスタートしました。ひとりを持って自分の興味のある学習に自主的に取り組む時間が増えたのです。博物館でもこの時間を子どもたちと有効に活用することができるよう、今年度から「土曜日だ博物館に行こう！」という行事を企画しました。



今日は、その1回目。古生代に栄えた三葉虫について、レプリカをつくりながら観察し、その体のつくりなどを学びました。参加者は18名でした。実物の

三葉虫化石から型をとったシリコン型に石こうを流し込み、本物そっくりの「三葉虫の化石」が出来上がりです。この後、できあがった型にアクリル水彩絵の具で着色します。出来上がりを見てにんまりしながら「はじめて(レプリカを)つくった。むずかしかったけど楽しい!」と口をそろえて話したのは、御船小学校3年生の男の子3人組。また、「(化石が)大好きなんですよ!こんな時は目覚めが早くて…(笑)だから早めに出てきました」と八代市から参加した6年生と4年生とその御家族の方。そして「次のレプリカづくりにも参加



レプリカづくり「腕足貝」に20名の参加者があり、そのうちの8名の人は1回目にひきつづき参加されました。

今回のテーマは「腕足動物」。腕足動物は腕足貝ともよばれるようにアサリなどの二枚貝に似ていますが、よく見ると体のつくりがちがっています。古生代にはたくさんの種類がいて、古生代の地層の重なりの順序を決めるのに役立っています。今でも有明海にいるミドリシャミセンガイ(リンギュラ)は、古生代からほとんど姿をかえていない腕足動物で、「生きた化石」といわれています。熊本県内では、八代郡坂本村で約4億年前のリンギュラの化石が発見されていますし、御船町に分布する水越層からは腕足動物のスピリファーが見つかります。腕足動物について学んだ後、レプリカづくりに挑戦です。ここで使用する腕足動物のシリコン型はリンコネラやスピリファーなどのもので両面を型取りした本格的なものです。

しようかな!」と蘇陽町の自宅を朝7時に出で、参加した3年生の男の子。

着色して出来上がった「三葉虫の化石」はきっとそれぞれの宝物のひとつになることでしょう。



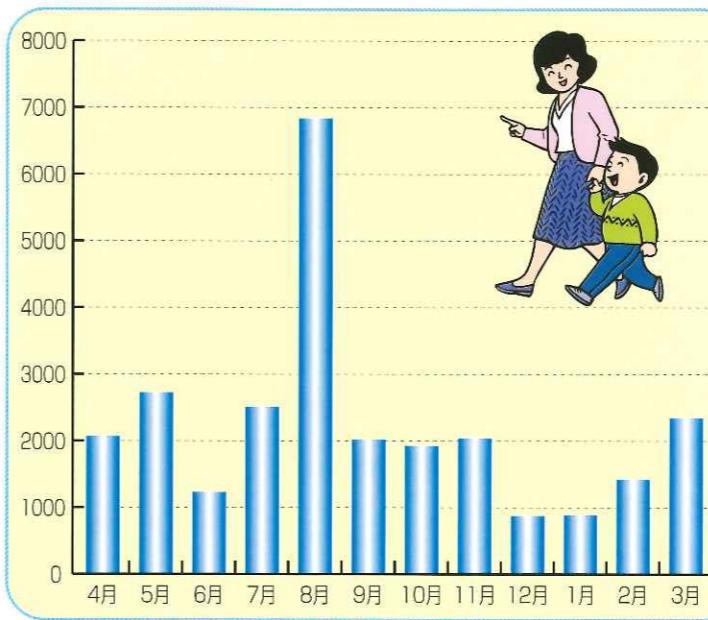
ちょっと
むずかしいけど
楽しい!



平成13年度の入館者数

平成13年度も町内外から多くの来館者がありました。

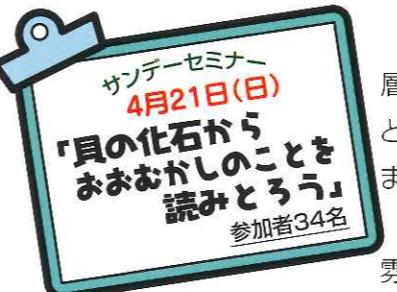
リニューアルから2年目を迎えた平成13年度は、**26,926人**の来観者を迎えることができました。



グラフを見てもわかるように来観者が最も多いのは8月。展示室や学習室は、毎日のように夏休みのこどもたちでぎやかです。10月と11月は学校の校外学習での利用が多く、大型バスが毎日のようにやってきます。恐竜というと「子ども向け」とみられますが、利用者の割合をみてみると63%はおとなです。学校の見学旅行でやってきた子どもたちも、家に帰ってその思い出を話し、もう一度家族といっしょに来ることが多いようです。こうして何度も博物館にきてもらえるように、博物館では、**定期観覧券を準備しています**。券を購入した日から1年間有効で、通常の観覧料の3回分です。また、10回来館した人には、恐竜グッズのプレゼントもあります。何度も来て楽しく学べるように、展示はもちろんのこと、博物館の中でおこなえる活動も充実させていきたいと考えています。



あつ
見つけた!



御船町カルチャーセンター(会議室)で化石や地層の話、採集の心得、採集するものなどの説明を聞いた後、「ミフネ化石ひろば」へ出発しました。

あいにくの小雨模様で、化石ひろばも霧に覆われて、雰囲気はあるで太古の世界へ足を踏み入れたかのようでした。

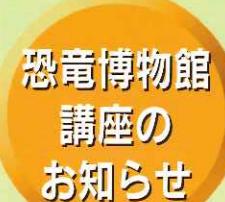
このセミナーに参加したのは、町内外から集まった親子34人。町内の小学校5年生のある男の子は「初めて参加しました。化石見つけるのはむずかしいけど、楽しいです!」と石を一生懸命割っていました。「あつ、見つかった!」「これなんだろ?」「(石が)かたいよ~。」あちらこちらで子どもたちの声がひびきます。スタッフもアドバイスや鑑定に大忙し。2時間の化石採集の時間もあつという間に過ぎ、午後からは採集した貝化石の種類を調べたり、化石のクリーニングのしかたなどを勉強しました。熊本市から家族5人で参加されたあるお母さんは「子ども達が喜んでくれてよかったです。初めてでしたが本当に楽しかったです。天気がちょっと残念でしたけど…」と、家族で楽しく過ごされ満足そうでした。



御船町恐竜博物館 e会員 募集中!

御船町恐竜博物館では、行事案内や最新ニュースを電子メールで受け取ることができます。e会員を募集しております。現在会員数は150名を数えています。入会金、会費等は無料で、申込方法はとても簡単。下記アドレスまで、メールをお送りください。

[Email] info@mifunemuseum.jp



サンデーセミナー

- 12月 8日(日) 「恐竜の不思議」
- 2003年
- 2月 2日(日) ペーパークラフト「紙で恐竜をつくろう」
- 3月23日(日) アンモナイトの内部構造

土曜日だ博物館に行こう!

- 11月30日(土) 「レプリカづくり(恐竜の歯)」
- 12月21日(土) 「レプリカづくり(ビカリア)」



恐竜博物館
講座の
お知らせ